P-D-16

宮城県における全国がん登録への対応（第6報）

都道府県がん登録情報の利用促進に向けた説明会の開催

目崎はる香[1,3]　齋藤美登里[1,3]　佐藤優希[1,3]　畠山怜奈[3]
西方萌[2]　勝又真希子[3]　鈴木智子[3]　只野尚子[2]　金村政輝[1,3]

1 宮城県立がんセンター　2 公益財団法人宮城県対がん協会
3 元・公益財団法人宮城県対がん協会

【目的】

・がん登録推進法第20条により，届出を行った病院及び指定診療所は都道府県がん登録情報の利用が可能となった。

・2019年3月，全国がん登録で初めての集計が終わり，利用が可能となった。

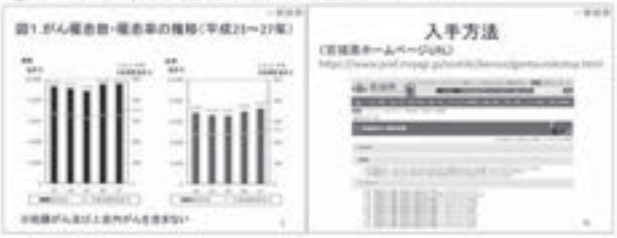
・がん登録情報の利用手続きについての周知と利用促進を目的として，県内の施設を対象とした説明会を開催したので報告する。

【方法】

・宮城県庁を会場とし，平日の午後，2時間の説明会を開催。

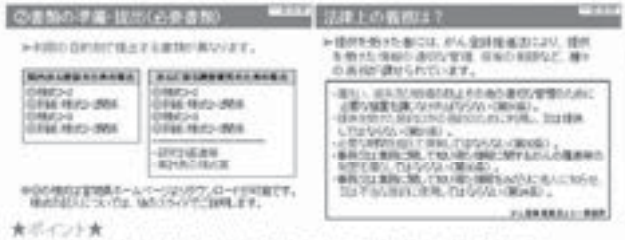
［第1部］
①2015年集計結果と入手方法について
②がん登録情報の利用方法について
［第2部］
次年度の届出について

①2015年集計結果と入手方法について



★ポイント★
県内医療機関へ毎年報告をしている「宮城県のがん罹患」について，グラフの見方や入手方法について説明を行った。

②がん登録情報の利用方法について



★ポイント★
利用可能な情報や利用申請の流れについて，順を追って説明を行った。

次年度の届出について

★ポイント★
※前元年度の届出や誤り調査等のスケジュール案内など，届出に関する注意事項について説明を行った。

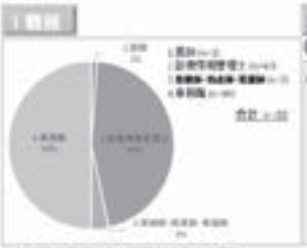
・参加者を対象にアンケート調査を行い結果を評価した。

質問項目

1 職種
2 説明会の理解度（5段階で評価）
3 利用申請についての意向
4 届出情報の作成方法について
5 説明会の時間（5段階で評価）
6 説明会に関する意見や要望（自由記載）
7 全国がん登録に関する質問やご意見等（自由記載）

【結果】

・63施設から89名が参加，アンケート回答88名（99%）



★診療情報管理士及び事務職の割合は59%

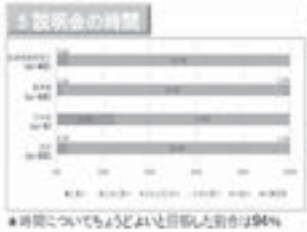
★十分理解できた及びだいたい理解できた割合は93%

★十分理解できた及びだいたい理解できた割合は89%

★十分理解できた及びだいたい理解できた割合は97%

★利用申請予定・検討中の割合は12%
手順がやのところわからないと回答

★Hos-Can形のシステムで作成している割合は47%
電子媒体に直接入力している割合は31%



★時間についてもうどよいと回答した割合は94%

・届出情報を登録するだけではなく，活用するために，利用方法についての説明会を開催してほしい。

・がん登録情報の利用について，施設別でどのように利用されているか知りたい。

【考察】

・説明会は多数の参加があり，がん登録情報の利用について関心が高いことが伺えた。また，参加者の理解度が高く，当初の目的を達成できた。

・本年5月，宮城県の主催する会議で，市町村に対する説明も行ったところである。

・今後，医療機関や市区町村，研究機関等との連携をとり，利用促進および研究促進が図れるよう努めていきたい。